

## 2019年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史 B		学年	2
				コース等	スポーツ	
	使用教科書		『詳説日本史 改訂版』 山川出版社		履修単位数	5
学習目標	<p>・グローバル化が進んでいく中で、我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p> <p>・歴史的思考力や、未来を見据える力を養うことが地歴科の目標であるので、知識を活用する応用力を身につける。</p>				評価の観点	<p>定期試験の結果、出席状況・提出物・小テストを中心に、授業態度や発問に対する解答などを踏まえて総合的に判断する。</p>
授業計画						
月	単元・教材		学習内容			
4	第2章 律令国家の形成 5 平安王朝の形成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生で学んだ内容を復習する。</li> <li>・藤原北家の発展と、その政治体制の特徴を理解する。</li> <li>・日本独自に成熟した国風文化の特徴と、それまでの文化との相違点の把握する。</li> </ul>			
5	第3章 貴族政治と国風文化 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士					
《第1回定期試験》						
6	第4章 中世社会の成立 1 院政と平氏の台頭		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「古代史」と「中世史」の相違点を考察する。</li> <li>・天皇親政と院政の相違点を考察する。</li> <li>・桓武平氏と清和源氏がどのように政権を獲得していったかを理解する。</li> <li>・武家政権の特徴を理解し、貴族社会との比較を試みる。</li> <li>・対外戦争による国内外への影響を考察する。</li> <li>・武家政権下における文化、特に鎌倉仏教を細かく考察し、相違点を理解する。</li> <li>・武家政権下における天皇や貴族の動向を理解する。</li> </ul>			
7	2 鎌倉幕府の成立					
9	3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退					
9	5 鎌倉文化					
《第2回定期試験》						
9	第5章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立		<ul style="list-style-type: none"> <li>・目まぐるしく変化する政権や、その特徴をそれぞれ理解する。</li> <li>・中世の外交を、古代の外交と比較して共通点と相違点をそれぞれ探る。</li> <li>・この時代の農民の生活を理解し、武家政治とどのようにかかわっていったのかを考察する。</li> <li>・時期のより特徴や流行が異なる、室町時代の文化を、大局的に理解する。</li> <li>・それまでの武家支配と、戦国大名の支配体制とを比較し、考察する。</li> </ul>			
10	2 幕府の衰退と庶民の台頭					
11	3 室町文化					
11	4 戦国大名の登場					
《第3回定期試験》						
12	第6章 幕藩体制の成立 1 織豊政権		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本とヨーロッパ諸国の交流の原因と、その内容を理解する。</li> <li>・織田信長と豊臣秀吉の勢力拡大の過程、政策の内容、およびその時代の文化をそれぞれ細かく理解する。</li> <li>・徳川家康の勢力拡大と、その政治体制の構築の過程と内容を理解する。</li> <li>・江戸幕府の政治体制を理解し、それまでの武家政権との比較を試みる。</li> <li>・江戸幕府の宗教、朝廷、外交の統制をそれぞれ理解し、特に外交についての政策やその過程を大局的に理解する。</li> <li>・徳川秀忠、徳川家光、徳川家綱、徳川綱吉、徳川家宣、徳川家継といった歴代将軍の政策内容を比較し、それぞれの理解に努める。</li> </ul>			
1	2 桃山文化					
1	3 幕藩体制の成立					
2	4 幕藩社会の構造					
2	第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定					
《第4回定期試験》						
3	2 経済の発展		<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代の庶民の活動や、発展の過程を理解する。</li> <li>・庶民が中心となった江戸時代の文化に対して考察する。</li> </ul>			
3	3 元禄文化					
副教材	<p>『最新日本史図表 初訂版』 第一学習社</p> <p>『日本史B 詳説日本史 改訂版 10分間テスト』 山川出版社</p>					

## 2019年度 シラバス

教科	地歴公民	科目	<b>世界史B</b>	学年	2
				コース等	スポーツ
	使用教科書		『世界史B』東京書籍	履修単位数	4
学習目標	世界各地で発生する様々な諸問題への関心を高め、その原因を主体的に考察する力を身につける。また、歴史の大きな流れをつかみ、歴史的関心を高める。文化の多様性学び、将来に必要なことは何かを学ぶ。			評価の観点	定期試験を軸に、授業への意欲的な参加や、関心の高さ、授業態度、社会に対する関心度などを、総合的に評価する。
<b>授業計画</b>					
月	単元・教材	学習内容			
4 5	文明以前の人類 オリエント世界と東地中海 ギリシア・ヘレニズム世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類の進化の過程を理解し、新石器時代の到来、農耕と牧畜の始まりと農耕文化の伝播を学ぶ。</li> <li>・メソポタミア文明・エジプト文明の展開とそれらの文化の特徴を学ぶ。</li> <li>・ヒッタイト、諸民族の侵入、フェニキア人・アラム人・ヘブライ人の活動を学ぶ。</li> <li>・オリエントを統一したアッシリアとアケメネス朝の支配の仕方を学ぶ。</li> <li>・クレタ文明とミケーネ文明の成立とその特徴を学ぶ。</li> <li>・ポリス社会の古代民主政の特徴を学ぶ。</li> </ul>			
《第1回定期試験》					
6 7 9	都市国家ローマ ローマ帝国の繁栄 ペルシア人 南アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローマの共和政の特徴や社会の変化について学ぶ。</li> <li>・専制君主政期のローマの政治体制とローマ共和政の違いを学ぶ。</li> <li>・アケメネス朝・パルティア・ササン朝の統治体制、ペルシア文明を学ぶ。</li> <li>・古代インドの社会の成立と、インドで誕生した宗教を学ぶ。</li> <li>・マウリヤ朝やクシャーナ朝の発展を仏教を中心に、ヒンドゥー教の成立を Gupta朝とからめて、以降のインド世界の基盤が形成されたことを学ぶ。</li> </ul>			
《第2回定期試験》					
9 10 11	南アジア世界 東アジア世界 騎馬遊牧民国家の興亡 東南アジア世界 アフリカ・オセアニア・古アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殷や周の国家体制と政治の特徴を学ぶ。</li> <li>・春秋・戦国時代の社会の変動、諸思想について学ぶ。</li> <li>・秦漢における中央集権的専制国家の形成について、学ぶ。</li> <li>・騎馬遊牧民の内陸ユーラシア世界における役割を学ぶ。</li> <li>・シルクロードを舞台とした人やものの交流について学ぶ。</li> </ul>			
《第3回定期試験》					
12 1 2	東南アジア世界 アフリカ・オセアニア・古アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラーム教成立の経緯とその特徴を学ぶ。</li> <li>・諸民族へのイスラーム教の普及に伴うイスラーム世界の拡大、地方政権の成立と発展について学ぶ。</li> <li>・ビザンツ帝国の動向、スラヴ人の諸国家の形成について学ぶ。</li> <li>・フランク王国とローマ教会の関係が西ヨーロッパに及ぼす影響について学ぶ。</li> <li>・封建社会の形成とその特徴および商業や都市の発展、遠隔地商業圏の成立を学ぶ。</li> <li>・教皇権の拡大と、十字軍の背景や影響について、学ぶ。</li> </ul>			
《第4回定期試験》					
3	イスラーム世界の形成 ヨーロッパ世界の形成				
副教材	『グローバルワイド最新世界史図表初訂版』第一学習社 『要点マスター 世界史B整理ノート』東京書籍				